

取引先との受注・出荷システムを構築し、事務を効率化

事業内容

プラスチック製品の成型、塗装、組立
プラスチック製品の金型設計、製作

■ IT導入の目的、ねらい

社長から「ITで業務改善ができないか」という提案があったため、業務改善を目的にITを導入した。

具体的には、インターネットを使った取引先との受注・出荷システムを構築し、製造部門への指示のスムーズ化、出荷伝票作成事務の効率化を図ろうと考えた。

■ IT導入の経緯

IT化という時代の波に取り残されないようにするため、社長自らの提案によりIT化を推進することになった。

当社にはITに精通した職員がいなかったため、5年前に専門職員を1名採用し、基本的にはその職員がIT化を推進していった。

アウトソーシングも検討したがコスト面を考慮して、自社で対応することにした。

このため、受注・出荷システムの構築、受注一覧のデータベース化、ホームページの作成、社員のIT研修等、全ての業務を自社で実施した。

■ ITの導入状況と費用

以前は取引先から注文伝票（月3,000～4,000枚）が届くと、作業指示書を手書きして製造部門に指示し、製品が完成すると出荷伝票を手書きして出荷していた。

そこで、作業の迅速化、効率化を図るため受注・出荷システムを構築し、電子メールでも受注できるようにした。電子メールで受注すると添付されていた注文一覧をパソコン処理して作業指示伝票を作成し、製造部門に指示する。

製造が終わると作業指示伝票を回収し、バーコードで読み込み出荷伝票を作成する。

また、受注伝票を台帳管理していたが、データベース化したことにより、納期別一覧、製品別一覧等の各種データを早く正確に入手することができる。

導入機器はパソコン9台、プリンタ5台、ネットワーク機器（ハブ）で、総費用は350万円である。

ランニングコストは電話料が月10,000円程度である。

パソコントラブル、ウィルス対策は自社で対応している。

■ IT導入時の問題とその対応策

導入当初は、パソコンを操作できる職員が2人程しかいなかった。

このため、担当職員を講師にパソコン研修（2時間、パソコン基本操作、エクセル基本操作）を実施した。今年度は初心者全員を対象に3時間の研修を実施することになっている。



ワイ・ケー・ピー工業（株）

■ I T活用の具体的効果

当社では、受注・出荷システムを構築したことで、作業の迅速化、効率化を進めることができた。

システム構築の結果、作業指示書・出荷伝票の手書きがなくなり、事務の効率化が図られた。

受注台帳についても、以前は手書き管理していたが、受注一覧を加工してデータベース化し、一元管理できるようになった。受注台帳への転記作業がなくなり、「ミス」、「漏れ」がなくなった。

また、受注台帳のデータベース化により、納期別一覧、製品別一覧等の各種データを早く正確に入手することができるようになった。

なお、このシステムは取引先15社のうちの1社にのみ適用しているが、この1社で受注額の60～70%を占めている。今後は少しでも多くの取引先にこのシステムを適用し、投資効果を高めていきたいと考えている。

■ 今後のI T関連計画

現在4つの部署（総務部、生産管理部、製造部、品質管理部）があるが、1部署につき2～3人に対し少しレベルの高い研修を実施し、専門スタッフを育成していきたい。

なお、パソコンの習熟度について、職員間に格差が生じてきたので、研修により全体の底上げを図っていきたい。

■ 今後I Tを導入する企業へのアドバイス

- ✓ I T導入に当たっては、社内に専門のスタッフを確保する必要がある。
- ✓ 十分に業務分析をしてからシステムを構築すること。折角、システムを構築しても使い勝手が悪ければ、「使えない」あるいは「使われない」ことになる。
- ✓ 社員教育によりI Tの習熟レベルを向上させる必要がある。

会社名	ワイ・ケー・ピー工業株式会社
業種	プラスチック製品製造業
設立年月	昭和60年2月
資本金	2,000万円
従業員数	50人
所在地	中津川市千旦林字星ヶ見 651-15
U R L	http://www.ykp-k.co.jp